

第 21 回基本政策部会における委員からの意見

(スピードの重要性)

- 宇宙分野は変化が早くなっている。世界のスピードに太刀打ちできないと意味がない。どうやったら世界に勝てるのか、どうやったら世界のスピードについていけるのかを考えて取り組みを進めるべき。

(海外や民間企業との連携)

- 海外との連携、民間企業との連携も重要。政府の資金で民間の資金を呼び込むといった工夫も考えるべき。

(小型衛星コンステレーション)

- 小型衛星コンステレーションについては、具体化に向けた検討が迅速に進められていることは評価する。
- 小型衛星コンステレーションについて、ハードの開発も重要であるが、災害対応への利用やビジネスに繋がるようユーザーを念頭に置いた開発が重要。また、衛星データ以外のデータもあわせて、課題解決につながるソリューションを提供する仕組みの開発も検討して欲しい。
- 小型衛星コンステレーションの開発にあたっては、開発と実証を早いサイクルで回していくことが世界の主流であり、日本もこの世界の動きに遅れないよう、スピードをもって進めていくことが重要。我が国独自のコンステレーションをいつまでに構築するのか、スケジュールを明確化することも検討すべき。
- アンカーテナントは大きなインパクトがある。政府の政策的位置づけを整理するとともに、しっかりと予算を確保することで効果的に取り組んで欲しい。
- 衛星間光通信の技術開発については、リモセンだけではなく、通信サービスへの応用もありえる。海外への売り込みも念頭に置いて取組を進めるべき。

27 (将来輸送システム)

- 28 ○ 宇宙科学・探査を強化していくためにも、輸送コストの低減は重要。宇宙太陽
29 光発電の実現には、輸送コストの低減が重要。
- 30 ○ 将来宇宙輸送システムの開発と、宇宙太陽光発電の開発や衛星の開発は、
31 よく連携して進めるべき。

32

33 (宇宙科学・探査)

- 34 ○ アルテミス計画は、将来的に民間による活用を広げていくことを念頭におい
35 て進めてほしい。
- 36 ○ MMX(火星衛星探査計画)は科学的意義が大きく、技術的にもはやぶさ2を
37 上回る技術が求められる。はやぶさ2の時と同様に、JAXA 全体の技術力を
38 結集して取り組んで欲しい。
- 39 ○ 宇宙科学・探査を強化していくためにも、輸送コストの低減は重要。〈再掲〉

40

41 (宇宙太陽光)

- 42 ○ 宇宙太陽光発電については、他国も取組を加速しており、文部科学省と経済
43 産業省がしっかりと連携して取組を加速することが重要。また、海外と協力す
44 る、焦点を絞って開発するなどの工夫についても、検討していくべき。
- 45 ○ 宇宙太陽光発電の実現には、輸送コストの低減が重要。将来宇宙輸送シス
46 テムの開発と、宇宙太陽光発電の開発や衛星の開発は、よく連携して進め
47 るべき。〈再掲〉

48

49 (その他)

- 50 ○ 地球温暖化対策にはデータが重要であり、GOSAT が大きな貢献をすること
51 が期待される。精度の向上に加えて、そのデータが国際的に利用されるよう、
52 各国への働きかけにしっかりと取り組んで欲しい。